

# 中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：2019年度第1四半期（2019年4月～6月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：40社 サービス業：60社）

## DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

## \*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

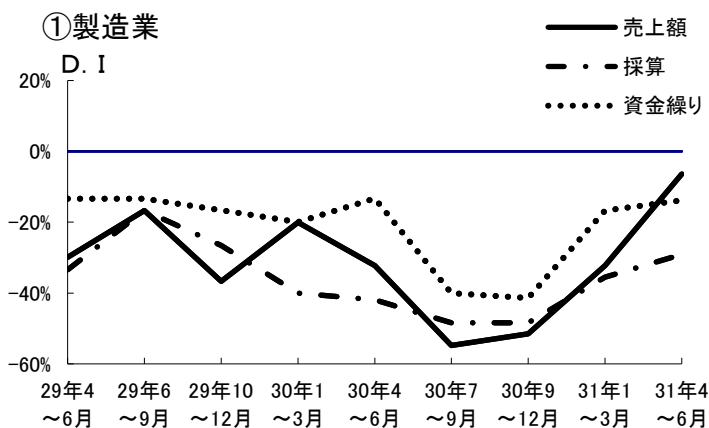
## 1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成29年 4~6月期		▲ 26.7		▲ 36.8		▲ 53.7		▲ 31.1		▲ 37.1
平成29年 7~9月期		▲ 20.0		▲ 10.0		▲ 36.6		▲ 35.6		▲ 25.6	
平成29年 10~12月期		▲ 20.0		▲ 5.0		▲ 48.9		▲ 32.7		▲ 26.7	
平成30年 1~3月期		▲ 43.3		5.0		▲ 58.5		▲ 45.8		▲ 35.7	
平成30年 4~6月期		▲ 43.3		▲ 15.0		▲ 41.0		▲ 8.4		▲ 26.9	
平成30年 7~9月期		▲ 46.7		5.0		▲ 45.0		▲ 16.9		▲ 25.9	
平成30年 10~12月期		▲ 30.0		15.0		▲ 48.6		▲ 16.9		▲ 20.1	
平成31年 1~3月期		▲ 36.7		20.0		▲ 47.5		▲ 28.8		▲ 23.3	
平成31年 4~6月期		▲ 23.4		30.0		▲ 45.0		▲ 12.1		▲ 12.6	
来期見通し 7~9月期		▲ 26.7		5.0		▲ 47.5		▲ 8.6		▲ 19.5	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

## 2.業種別景気動向

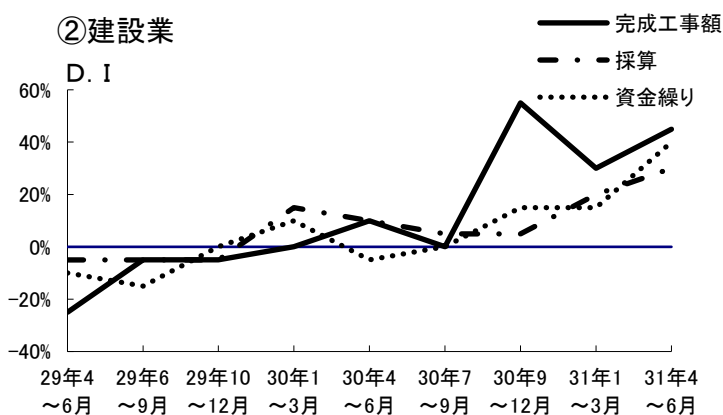


### <前期比>

売上額 : 好転 (▲32.3→▲6.4 ポイント)  
採算 : やや好転 (▲35.5→▲29.1 ポイント)  
資金繰り : やや好転 (▲16.7→▲13.8 ポイント)

### <経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 原材料価格の上昇 (27.6%)  
2 位 : 製品ニーズの変化、需要の停滞 (13.8%)

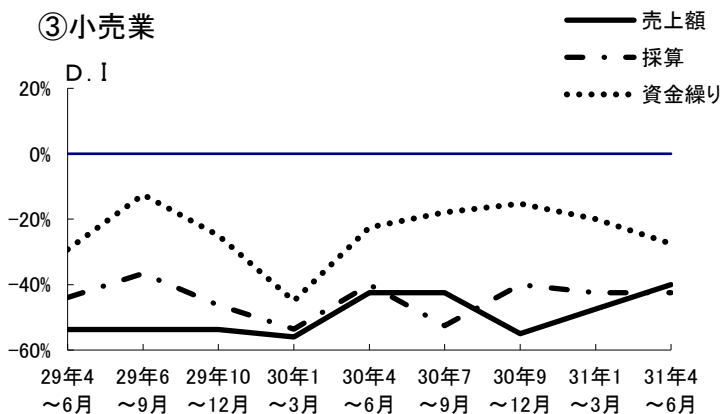


### <前期比>

完成工事額 : 好転 (30.0→45.0 ポイント)  
採算 : やや好転 (20.0→30.0 ポイント)  
資金繰り : 好転 (15.0→40.0 ポイント)

### <経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 材料価格の上昇 (40.0%)  
2 位 : 官公需要の停滞 (20.0%)

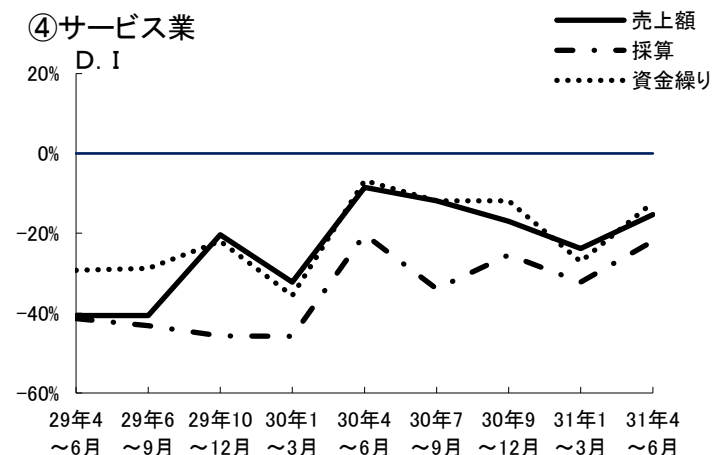


### <前期比>

売上額 : やや好転 (▲47.5→▲40.0 ポイント)  
採算 : 横ばい (▲42.5→▲42.5 ポイント)  
資金繰り : やや悪化 (▲20.0→▲27.5 ポイント)

### <経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化、需要の停滞 (15.8%)  
2 位 : 大型店・中型店の進出による競争の激化、販売単価の低下、上昇難 (13.2%)



### <前期比>

売上額 : やや好転 (▲23.8→▲15.3 ポイント)  
採算 : 好転 (▲32.2→▲22.0 ポイント)  
資金繰り : 好転 (▲27.1→▲12.3 ポイント)

### <経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 材料等仕入価格の上昇 (26.0%)  
2 位 : 利用者ニーズの変化、店舗施設の狭隘・老朽化、利用料金の低下、上昇難、従業員の確保難 (12.0%)